

・学年/教科	第6学年/社会科	授業者 瀬戸 貴規
・事例タイトル	なんちゃって国会を開こう！	
(授業の概要)		
<p>社会科の公民の授業で、学習活動ソフトウェア SKYMENU のアンケート機能、ノート機能を用いて授業を行いました。日本の総予算から、国民のために、「予算案・政策内容」を考えさせ、「予算案・政策案」をもとにして、ペア・グループ・全体で話し合い活動を行いました。また各省の予算案・政策内容に対して、「賛成」「反対」の判断をさせました。</p>		
(ねらい)		
<p>○日本の総予算から、国民のために、「予算案・政策内容」を考えることができる。 ○「予算案・政策案」をもとにして、ペア・グループ・全体で話し合い活動ができる。 ○各省の予算案・政策内容に対して、「賛成」「反対」の判断ができる。</p>		
(授業展開)		
<p>1、6つの〇〇省の中から自らの大臣を決める。 2、「国民のため」になるような内容を考えて、予算案を考える。 3、各省で、一番国民のためになる内容と予算を考える。 ①内容を考える②予算を考える③スカイメニューで、途中経過を集約する。(金額) 4、予想される反論・返答を考える。 5、議会を開いて、各大臣の予算請求について、スカイメニューの投票機能を用いて可決、否決を考える。 6、学習のふりかえりをする。</p>		
・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など		
<p>○使用機器 タブレット TV ○使用機能 学習活動ソフトウェア SKYMENU(ノート・投影・投票機能)</p>		
・伏山 STEPS との関連		
<input checked="" type="checkbox"/> S(スキル) <input checked="" type="checkbox"/> T(ツール) <input checked="" type="checkbox"/> E(エクスプローラー) <input type="checkbox"/> P(プログラミング) <input type="checkbox"/> セキュリティー		
・タブレット活用により期待できる効果やねらい		
<p>○意見の集約が簡単にでき、個人の考えが全体に反映されやすくなる。 ○学習活動ソフトウェア SKYMENU(投影・比較)を使うことによって、各班の意見を比較して考えることができる。</p>		
・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など		
<p>○発表している内容が視覚・聴覚から入ることにより児童の集中力と理解力が向上した。 ○児童の「自分も授業に参加することができた」という思いが、次への学習意欲と積極性につながったと思う。 ○投票機能を使用すると短時間で、結果がでるため、授業に臨場感が出ていた。 ○タブレットを用いることで、書字・発表が苦手な子どもも参加することができていた。</p>		

【本時で使用したワークシート、司会マニュアル】

○6つの中らなりたい大臣を決める。

めあて 政策案・予算案を考え議会体験をする。

総理大臣（先生）と議長（2名）

ステップ1 文部科学省、厚生労働省のように6つの中から大臣を決める。
私は 大臣

ステップ2 「国民のため」になるようなことを考えて、予算を請求して下さい。
*日本の総予算は97兆7128億円です。

何のためにお金を使う？

予算はいくらほしい？

ステップ3 各場で、一週間国民のためになる内容と予算を考える。
議会の準備（前で発表、スクリーンメニューを書く、司会、書記）

内容と理由	予算はいくらほしい？
<input type="text"/>	<input type="text"/>

ステップ4 予想される反論・返答を考える。

予想される反論	返答
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

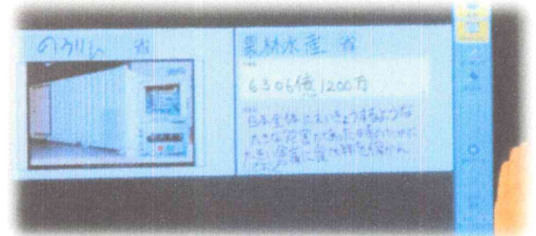
ステップ5 議会を開いて、各大臣の予算請求について、賛成、反対を考えよう。

〇〇省	予算請求（よさんせいきゅう）	賛成 反対
①文部科学省（もんぶがく）	<input type="text"/>	賛成 反対
②厚生労働省（こうせいろうどう）	<input type="text"/>	賛成 反対
③農林水産省（のうりんすいさん）	<input type="text"/>	賛成 反対
④国土交通省（こくどこうつう）	<input type="text"/>	賛成 反対
⑤環境省（かんげい）	<input type="text"/>	賛成 反対
⑥防衛省（ぼうえい）	<input type="text"/>	賛成 反対

なんちゃって国会

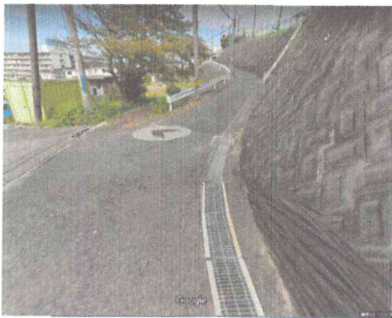
◎司会マニュアル◎

- 『(起立) これから、なんちゃって国会をはじめます。(礼・着席)』
『議長をつとめます〇〇と申します。どうぞよろしくお願いいたします。』
- 『それではまず、〇〇省より、政策案・予算案を報告してもらいます。』
『順によんでいきますので、各代表の方は1分で報告をお願いします。』
- 『それでは、〇〇省、政策案・予算案の報告をよろしくお願いします。』(各1分)
- 『それでは、〇〇省について審議を始めます。
意見・質問のある方は挙手をお願いします。』
☆4~5人くらい当てたら次へ。
- 『他に質問はないようですので、採決を取ります。』
『では、〇〇省の予算案の採決を行います。』
スクリーンメニューの賛成・反対ボタンをおしてください。』
- 『賛成〇〇名、反対〇〇名、本議案は可決となりました』
*否決の場合は、「過半数の賛成がありませんでしたので、本予算案は否決となりました』
- ③に戻る・・・(次のチームに行く)
- 以上で、予定していた審議を終了いたします。
- 『最後に、総理大臣からのお話です。』
『これで、議会を終わります。(起立、礼)』

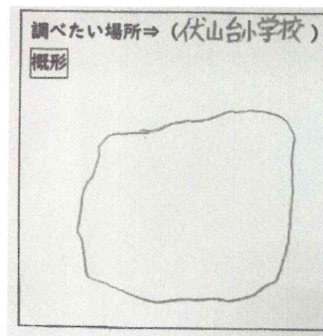


・学年/教科	第6学年 算数(関連:社会、道徳)	授業者 槻木 司
・事例タイトル	伊能忠敬になって、およその面積を求めよう。	
・授業の概要 (ねらい)	<p>①自分たちの地域の概形をとらえ、およその面積を求める。 (②伊能忠敬の努力や思いに触れ、これからの自分にいかす。)</p> <p>(授業展開) ワークシートは下段3, 4ページ目</p> <p>1、<u>ワークシートステップ1</u> Google マップのストリートビュー機能で、面積を調べたい場所の周りを歩き、概形を書く。</p> <p>2、<u>ワークシートステップ2</u> Google マップで、面積を調べたい場所を上空から確認し、自分の書いた概形を確認する。</p> <p>3、<u>ワークシートステップ3</u> 調べたい場所の形をおよそ〇〇な形とみて、Google マップの長さを測定する。 測定した長さをもとに、およその面積を出す。⇒答え合わせ</p> <p>4、<u>ワークシートステップ4</u> 日本や世界のいろいろな場所のおよその面積を求める。</p> <p>5、ふりかえり 伊能忠敬について、およその面積について</p>	
・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など	<p>○使用機器 タブレット 児童分</p> <p>○使用機能 Google マップ(ストリートビューや測定、上空写真)</p>	
・伏山 STEPS との関連	<input checked="" type="checkbox"/> S(スキル) <input checked="" type="checkbox"/> T(ツール) <input checked="" type="checkbox"/> E(エクスプローラー) <input type="checkbox"/> P(プログラミング) <input type="checkbox"/> セキュリティ	
・タブレット活用により期待できる効果やねらい	<p>○教科書にある図形のような、機械的に<u>ある形と見立てて</u>⇒<u>計算する</u>ではなく、自分たちの身近にあるものを実際に見て、測り、求めることで関心意欲をもって取り組める。</p> <p>○実際に行けないときでも、実際に歩いている感覚になることができ、苦労や努力を少しでも実感することができる。</p> <p>○Google マップ等の使用のスキルアップ</p>	
・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など	<p>○タブレットを使うこと、自分達の地域を調べられることから子どもたちの食いつきがよかった。</p> <p>○ネット環境によりストリートビューの機能が遅く、概形を取りにくいことがあった。</p> <p><u>見</u>今はこんな機能や道具を使ってだれでも見たり測ったりできるけれど、伊能忠敬は地道な努力とあきらめない気持ちをもって取り組んだことがすごいと思った。</p> <p><u>見</u>およその面積を使えば、変わった形でも、何かの形に見立てて、だいたいの大きさが調べられることが分かった。</p> <p><u>見</u>私は、あらかじめ何となく知っている形の場所を調べたので簡単だったけど、伊能忠敬さんは全く知らないところまで、やっていて本当に難しいことと感じたし、改めてすごいなと思った。</p> <p><u>見</u>およその面積でも意外と本当の面積に近い形を求められるんだなと思った。</p>	

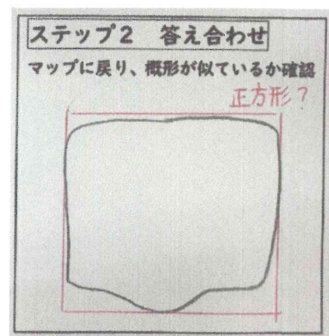
【児童の活動流れ】



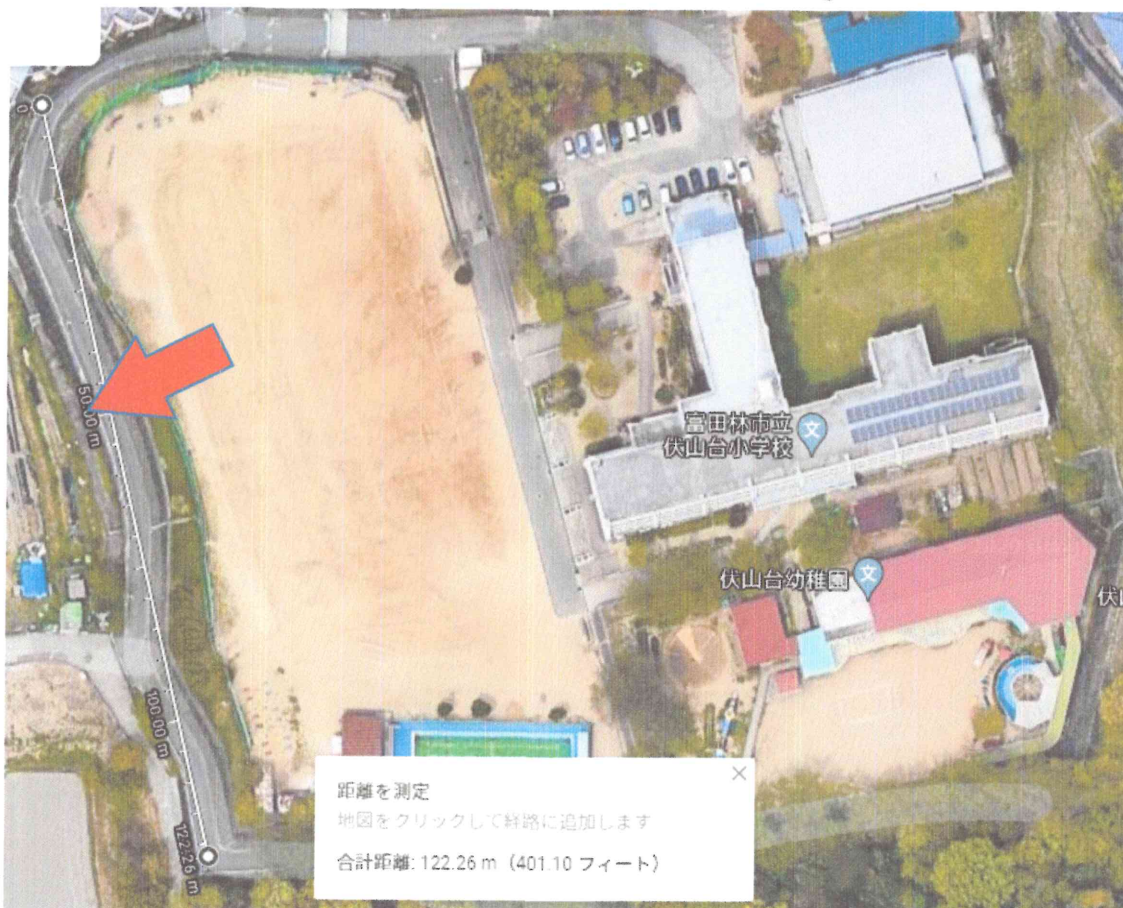
①ストリートビューで歩く



②概形をかく



③およそ〇〇とみる



④測定する⇒⑤計算する⇒⑥ネットなどで実際の大きさを確認する。

めあて

①

②

問題 身の回りの公園や施設の概形（だいたい形の形）をと

らえ、およその面積を求めよう。

ステップ1 伊能忠敬になろう！

google マップで学校から、面積の調べたい場所

に行っ、周りを歩き概形を、書きましよう

調べたい場所⇒ ()

概形

ステップ2 答え合わせ

マップに戻り、概形が似ているか確認

ステップ3 およその面積を求めよう！

①求めたい場所はおよそ () とみる。

どんな形？

②マップ上で長さを測定する。右クリック、「距離を測定」

③測定した長さをもとに、およその面積を出す。

【式】

答え

ステップ4 日本や世界の色々な場所のおよその面積を求めよう

調べたい場所（日本）⇒ ()

概形

【式】

答え

調べたい場所（世界）⇒ ()

概形

【式】

答え

③①伊能忠敬について

②およその面積について